

2022年 11月 4日

各 位

株式会社三井住友銀行

SMBCCN におけるソーシャルボンドへの初投資について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下「三井住友銀行」）は、中国現地法人である三井住友銀行（中国）有限公司（社長：垣内 隆、以下「SMBCCN」）において、お客さまの ESG/SDGs への取組サポートを目的として、初めてソーシャルボンドへの投資を実施しました。

2022年10月26日、海爾融資租賃股份有限公司（以下、「Haier FS」）が、国際基準「ソーシャルボンド原則（※1）」に基づいて中国の発行体が発行する債券としては2例目、民間ノンバンク金融機関としては初となるソーシャルボンドを発行し、三井住友フィナンシャルグループとして投資を実施しました。

本債券による資金は、国連の定める SDGs 目標の達成に貢献すべく、中国国内の発展途上地域における医療、教育、食糧安全保障、持続可能な農業、中小企業、女性起業家などの社会セクターの 500 以上のプロジェクトに活用される予定です。尚、中国の地方部の社会的インパクトを高めることに重点を置き、資金の大部分は地方部に関連する分野に投入される予定です。

具体的な資金使途は以下の通りです。

1. 食料の安全保障と持続可能な食料システム：主に食料安全保障と持続可能な食料システムおよび小規模生産者の生産性向上に関するプロジェクト
2. 必要不可欠なサービスへのアクセス：主に教育、医療、高齢者介護サービス、感染症拡大防止に関するプロジェクト
3. 中小企業向け資金供給及び社会経済的向上とエンパワーメント：雇用の創出、失業の防止・緩和、及び男女平等に関するプロジェクト

尚、本債券は「ソーシャルボンド原則」に基づき、外部認証機関である Sustainalytics（※2）より発行前のセカンド・パーティー・オピニオンを取得しております。

Haier FS は、「産業のための金融」という使命を掲げ、「社会の一体化・平等な発展、貧困と不平等の削減」という概念に基づき、環境、社会責任、企業統治（「ESG」）の概念をその発展戦略に組み込みつつ、常に実体経済に貢献しています。今回の Haier FS によるソーシャルボンドの発行は、市場が Haier FS の ESG への取組姿勢を評価していることを意味し、三井住友フィナンシャルグループとしても、お客さまの ESG 活動を支援すべく投資を実施したものです。

三井住友銀行及び SMBCCN では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成に積極的に貢献してまいります。

(※1) ソーシャルボンド原則

International Capital Market Association (ICMA) が公表するソーシャルボンドに対する国際的な指針です。ICMA は、世界 60 以上国の金融機関、法律事務所等を中心とした約 550 の会員から成る会員協会。持続可能な経済の成長と発展に必要な安定的な資金提供が行われるよう、国際債券市場の健全性を保ち、機能的な、世界を一貫できるクロスボーダー債券市場を促進することを目的として 1968 年に欧州にて設立されました。

(※2) Sustainalytics

Sustainalytics は、グローバルなリサーチネットワークを有する Responsible/ESG 投資専門の独立系リサーチ&レーティング機関です。オランダ/アムステルダムに本社を置き、700 社以上のアセットオーナー及びアセットマネージャーに ESG 関連データを提供しています。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL : 03-4333-2703

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。